

星川駅～天王町駅間 高架下の施設「星天qlay」にて ホシテンクレイ 全てのゾーン開業に向け人流データ測定実証実験を再開します

株式会社相鉄アーバンクリエイティブ
株式会社相鉄ビルマネジメント

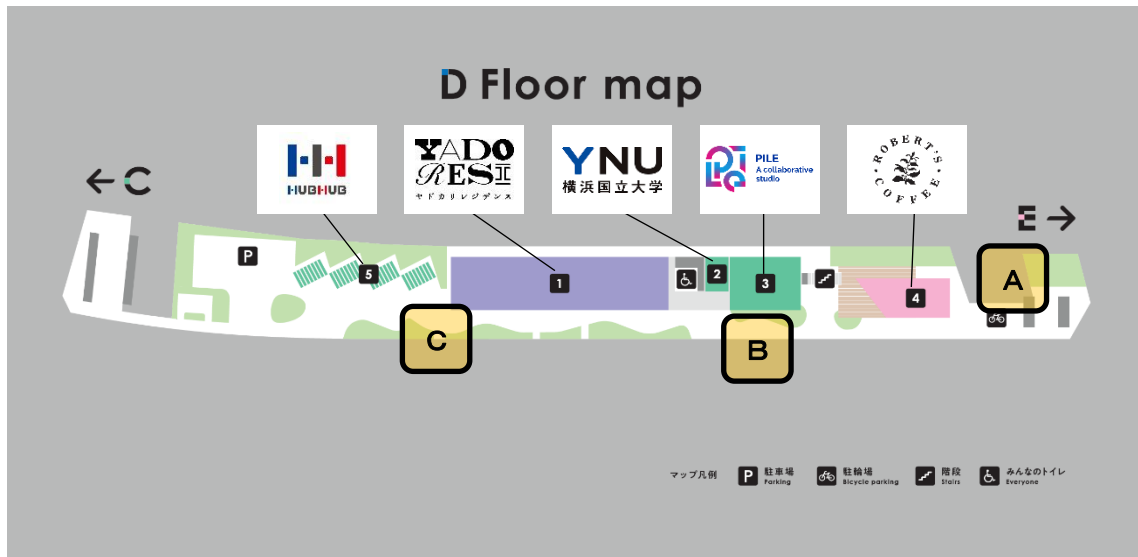
(株)相鉄アーバンクリエイティブと(株)相鉄ビルマネジメントは、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業において鉄道高架化により創出された、全長約 1.4 km のエリアを開発し、「星天 qlay（ホシテンクレイ）」を開業しています。また、「星天 qlay」では「駅周辺と高架下」を中心として、今まで分断されていた地区の南北を一体化したまちづくりを推進するとともに、星川駅周辺地区全体の利便性を向上し、にぎわいと交流を創出するまちづくりを推進しています。

今般、本エリアのまちづくりを推進するため、2023年12月22日（金）～2024年3月31日（日）まで実施しておりましたエッジ AI カメラを使った人流データ測定実証実験を全てのゾーンの開業に向けて、再開いたします。前回の実証実験と同様に、「星天 qlay」Dゾーンにて、(株)立花デバイスコンポーネントと(株)Acculus が共同開発した小型・低消費電力のエッジ AI カメラを使って人の通行量を計測します。本実証実験での計測を活かし、本エリアの今後のまちづくりに寄与してまいります。また、Dゾーンに入居している横浜国立大学（総合学術高等研究院）と連携し、本実証実験を検証してまいります。

1. 実証実験の概要

(1) 計測場所

「星天 qlay」Dゾーンにて、A地点、B地点、C地点の3箇所に計測機器を設置して計測します。



「星天 qlay」Dゾーン計測機器設置位置（A、B、Cの3箇所）

(2) 計測期間

2024年9月17日（火）～2025年3月31日（月）

※機器動作確認 2024年9月9日（月）～2024年9月16日（月）

※メンテナンスの為、期間中に計測を一時停止する場合があります。

※計測機器や近隣施設、天候の状況により、日程・時間短縮や中止する場合があります。

(3) 計測方法

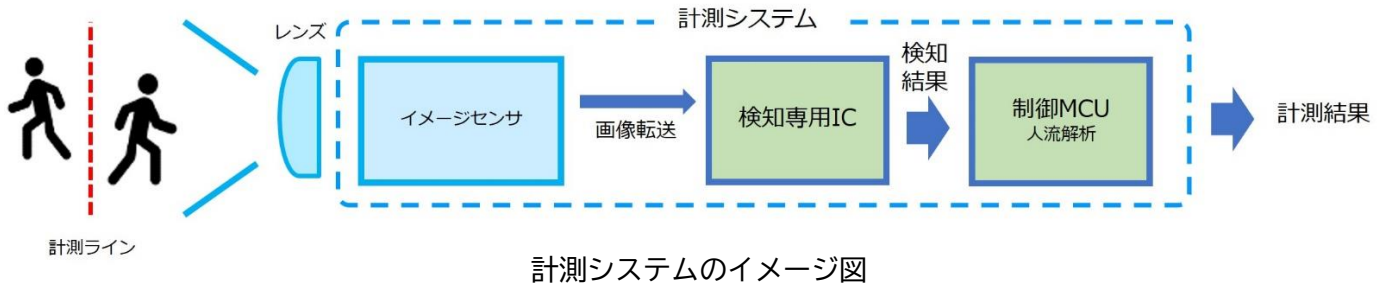
(株)立花デバイスコンポーネントと(株)Acculusが共同開発したエッジ AI カメラ『Mini Watt Vision』を計測機器として使用します。

小型カメラによる撮影画像から検知専用 IC を使って高速で人を検知します。

人の検知結果を時系列で解析することで人流を計測します。

予め任意に設定した計測ラインを越えて移動した人の移動方向と数をカウントします。

計測機器内部では低解像度のカメラによる撮影を行います。撮影した画像データは人流解析後に削除されます。



2. 実証実験の参加企業について

本事業における参加企業（共同実験企業）は下表の通りです。

会社名	役割
(株)相鉄アーバンクリエイツ	実証フィールド提供、運用管理補助
(株)相鉄ビルマネジメント	実証フィールド提供、運用管理補助
(株)Acculus	計測機能ソフトウェア開発、運用管理
(株)立花デバイスコンポーネント	計測機器ハードウェア開発、機器設置・運用管理

3. 個人情報などの取り扱いについて

本実証実験においてカメラで撮影した映像データを保存して第三者に提供することはありません。

計測結果には人物の特徴や風貌を示す内容および個人の特定につながる情報は含まれておりません。

その他、本実証実験において個人を特定することができる情報を収集・利用することはありません。